

特定漁港漁場整備事業の廃止について（公表）

1 地区名（漁港名）

大方地区（伊田漁港、入野漁港）

2 廃止の理由

廃止する施設	廃止の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸（中間育成） L=93m</li> <li>・-3.0m 岸壁（中間育成） L=94m</li> <li>・-3.0m 泊地（中間育成） A=3,500m<sup>2</sup></li> <li>・用地（中間育成） A=4,687m<sup>2</sup></li> </ul>	<p>ヒラメの放流種苗を中間育成し、サイズを大きくすることで歩留まりを向上させるために計画していたが、あらかじめサイズが大きいものを購入し放流することにより歩留まりの向上が見込まれることから、廃止する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・-3.0m 岸壁 L=45m</li> <li>・-3.0m 泊地 A=5,000m<sup>2</sup></li> <li>・用地（野積場） A=820m<sup>2</sup></li> </ul>	<p>利用漁船隻数の減少により、既存の係留施設での出漁準備が可能となり、新たな施設整備の必要性が低くなったため廃止とする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・-3.0m 物揚場（補修） L=155m</li> </ul>	<p>ストックマネジメント事業の導入により、漁港全体の保全対策とあわせて実施していくこととし廃止する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮棧橋 L=30m</li> </ul>	<p>陸揚げ作業における漁労軽減のための施設として計画していたが、利用漁船の減少により、施設整備に対する要請が低下したため廃止する。なお、代替機能を確保するため、小型のクレーン等の設置を今後検討していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨港道路 L=297m</li> </ul>	<p>新設される中間育成施設や-3.0m 岸壁へのアクセスのための施設であり、これら施設の廃止に伴い廃止とする。</p>

3 当該事業及びその関連事業の進捗状況に関する事項  
(漁港施設)

(単位：百万円)

都道府県名	整備対象漁港名	漁港種類		所管	事業主体名		漁港管理者名	
高知県	入野	第1種		本土	黒潮町		黒潮町	
計画施設	計画工事種目	計画数量			事業実施済み数量			廃止 工種
		単位	計画数量	計画事業費	単位	事業実施 済み数量	事業実施 済み事業費	
外郭施設	沖防波堤	m	123	11280	m	98	1,184.7	
	護岸(中間育成)	m	93	74.0	m	0	0	○
	東防波堤(改良)	m	20	717.0	m	20	672.3	
係留施設	-3.0m 岸壁 (中間育成)	m	94	85.0	m	0	0	○
	-3.0m 岸壁	m	45	52.0	m	0	0	○
	-3.0m 物揚場 (補修)	m	155	200.0	m	0	0	○
	浮棧橋	m	30	100.0	m	0	0	○
水域施設	-3.0m 泊地 (中間育成)	m2	3,500	8.0	m2	0	0	○
		m3	3,200		m3	0		
	-3.0m 泊地	m2	5,000	8.0	m2	0	0	○
		m3	3,500		m3	0		
輸送施設	臨港道路	m	297	100.0	m	0	0	○
漁港施設用地	用地(中間育成)	m2	4,687	63.0	m2	0	0	○
	用地(野積場)	m2	820	10.0	m2	0	0	○
計				2545.0			1857.0	

都道府県名	整備対象漁港名	漁港種類		所管	事業主体名		漁港管理者名	
高知県	伊田漁港	第1種		本土	高知県		高知県	
計画施設	計画工事種目	計画数量			事業実施済み数量			廃止 工種
		単位	計画数量	計画事業費	単位	事業実施 済み数量	事業実施 済み事業費	
外郭施設	1号・2号防波堤 (改良)	m	100	12.3	m	100	12.3	
	護岸(嵩上げ)	m	194.7	260.7	m	194.7	240.2	
係留施設	-3.0m 岸壁	m	85	101.1		85	101.1	
	船揚場	m	30	67.4		30	67.1	
水域施設	-3.0m 泊地	m2	5,000	101.0		5,000	99.2	
		m3	6,000			6,000		
輸送施設	臨港道路	m	85	7.0	m	85	10.1	

漁港施設用地	用地護岸	m2	55	63.9	m2	55	59.6
	用地(埋立)(野積場・漁具干場)	m2	870	1.6	m2	870	0.6
	用地(防塵処理)	m2	7,990	20.0	m2	7,990	19.0
計				635.0			609.2

(関連事業による施設整備の進捗状況)

施設名	施設の規模と内容	施設の進捗状況
なし		

#### 4 事業実施済み箇所の機能の発揮に関する事項

事業実施済み箇所の機能の発揮の様子
<p><b>【入野漁港】</b></p> <p>○沖防波堤（平成 14～16 年度、平成 19～21 年度事業実施） 蓄養水面及び航路等の静穏度が向上し、作業の効率性が向上、漁船の避難回数の削減</p> <p>○東防波堤（改良）（平成 17～20 年度事業実施） 蓄養水面内の海水交換が可能となるよう海水交流型へ改良したことにより、水質環境が向上し、蓄養の環境が改善</p> <p><b>【伊田漁港】</b></p> <p>○1・2号防波堤（改良）（平成 15 年度事業実施） 既設防波堤への防風柵の設置により、季節風の泊地への影響が低減し、陸揚げ作業や漁船係留時の安全性が向上</p> <p>○護岸（嵩上げ）（平成 16～18 年度事業実施） 漁具干場への越波が低減され、用地利用の安全性が向上</p> <p>○3.0m 岸壁（平成 14～16 年度事業実施） 漁具の積み卸し作業のための準備岸壁が整備され、漁具修理等の作業の効率が向上、また荒天時における避難岸壁として利用</p> <p>○船揚場（平成 17～19 年度事業実施） 漁船修理時における安全性の向上と、作業効率の向上</p>

○-3.0m 泊地（平成 14～16、19 年度事業実施）

漁具修理時における操船性の向上による作業の効率化と荒天時等に避難泊地として利用することにより避難作業時間が短縮

○臨港道路（平成 18～19 年度事業実施）

係留施設や施設用地にかかる輸送施設として利便性を確保

○用地護岸（平成 19 年度事業実施）

○用地（野積場・漁具干場）（平成 14～16 年度事業実施）

○用地防塵処理（平成 19 年度事業実施）

漁具修理作業等における作業効率が向上

## 5 廃止又は施行を停止したことによる影響に関する事項

影響の内容
<p><b>【入野漁港】</b></p> <p>「護岸（中間育成）L=93m」、<math>\text{「-3.0m 岸壁（中間育成）L=94m」}</math>、<math>\text{「-3.0m 泊地（中間育成）A=3,500m}^2\text{」}</math>、<math>\text{「用地（中間育成）A=4,687m}^2\text{」}</math>については、サイズが大きい種苗を購入し放流することで、対応が可能なため事業の廃止による影響はない。</p> <p><math>\text{「-3.0m 岸壁 L=85m」}</math>、<math>\text{「-3.0m 泊地 A=5,000m}^2\text{」}</math>、<math>\text{「用地（野積場）A=820m}^2\text{」}</math>については、漁船隻数の減少により現有施設での対応が可能なため事業の廃止による影響はない。</p> <p><math>\text{「-3.0m 物揚場（補修）L=155m」}</math>については、ストックマネジメント事業の導入により、漁港全体の機能保全対策とあわせて対応していくこととしており、事業の廃止による影響はない。</p> <p><math>\text{「浮棧橋 L=30m」}</math>については、漁業者の減少により、小型クレーン等での対応が可能なため、今後小型クレーンの設置を検討して行くこととしており、事業の廃止による影響はない。</p> <p><math>\text{「臨港道路 L=297m」}</math>については、中間育成施設や<math>\text{-3m 岸壁}</math>へのアクセス道路であり、これらの廃止により整備の必要性が無くなったことから廃止による影響はない。</p> <p><b>【伊田漁港】</b></p> <p>計画施設の全てが整備済みであり、当初の事業目的を果たしているため、特定漁港漁場整備事業を廃止したことによる影響はない。</p>

## 6 今後の課題と対応に関する事項

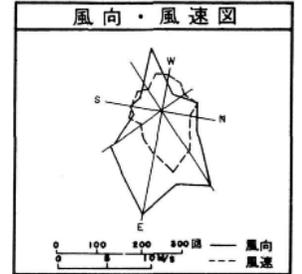
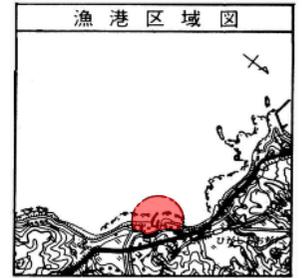
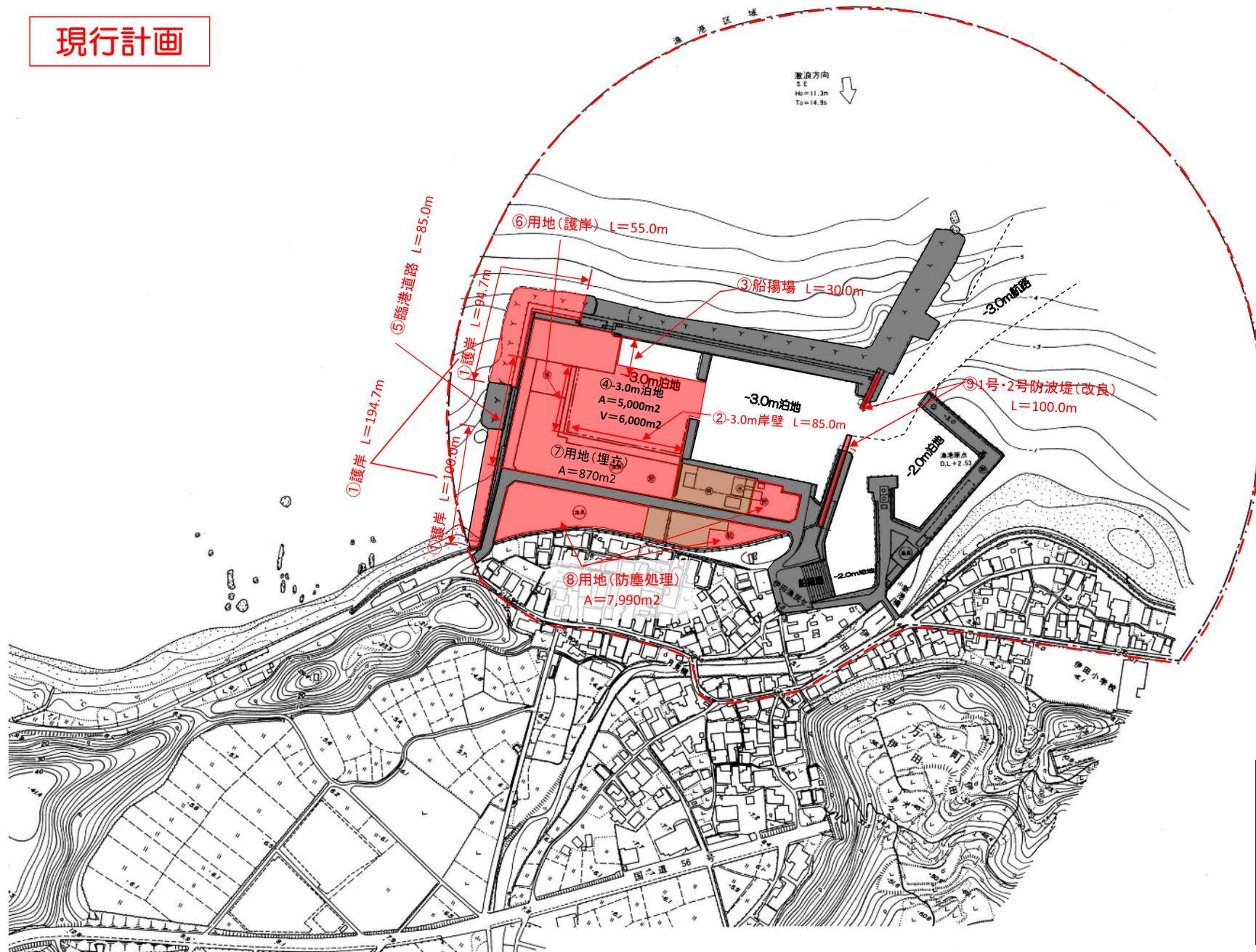
本地区の漁港の整備着手は昭和 40 年代からであり、建設後 50 年を迎える施設が今後多くなる。このうち伊田漁港で策定した機能保全計画では、早急に保全工事が必要となる施設は確認されなかったが、今後、供用年数を経るに従い、老朽化が進行する可能性がある。このため、日常点検を実施し、漁港施設の機能保全と延命化に対応していく必要がある。

入野漁港は平成 25 年度に機能保全計画を策定しており、老朽化により早期の保全工事の実施が必要となる施設が確認されている。今後は、計画的な保全工事の実施し、漁港施設の機能の保全と長寿命化へ対応していく。

大方地区(伊田漁港)  
特定漁港漁場整備事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4210370	第1種	本土	高知県	高知県	高知県幡多郡黒潮町伊田

現行計画



潮位図 (Tide Level Diagram)

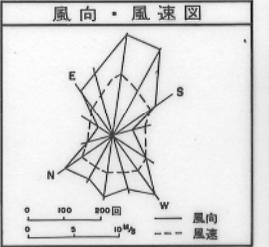
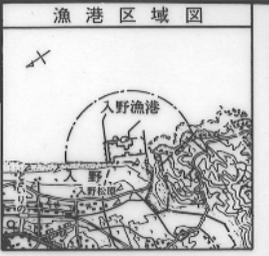
H.H.W.L.	+3.40
H.W.L.	+1.80
M.S.L.	+
T.P.	+
L.W.L.	±0.00
C.D.L. (D.L.)	

凡例 (Legend)

- 平成13年度までに完成した施設 (Facilities completed by Heisei 13)
- 当該事業基本計画 (Basic Plan for this project)
- 他事業 (平成13年度までに完成した施設) (Other projects (facilities completed by Heisei 13))
- 他事業 (平成14年度以降の計画) (Other projects (plans from Heisei 14 onwards))

大方地区 (入野漁港)  
特定漁港漁場整備事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4210390	第I種	本土	黒潮町	黒潮町	高知県幡多郡黒潮町入野

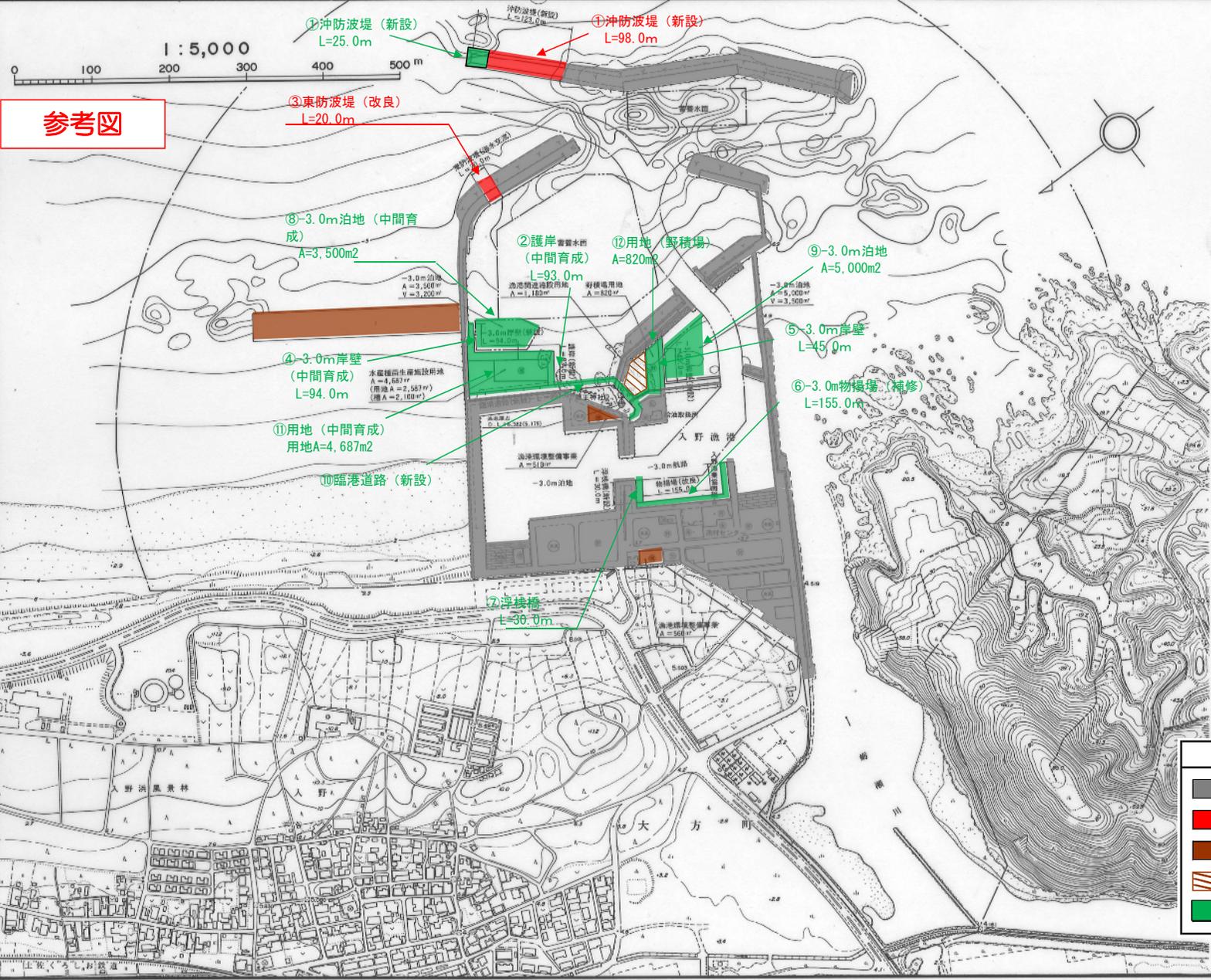


潮位図 (Tide Level Diagram)

H.H.W.L	+3.40
H.W.L	+1.80
M.S.L	+
T.P	+1.20
L.W.L	±0.00
C.D.L (D.L)	

凡例 (Legend)

■	平成13年度までに完成した施設
■	当該事業基本計画
■	他事業 (平成13年度までに完成した施設)
■	他事業 (平成14年度以降の計画)
■	廃止施設



参考図

平成14年9月測量  
X = 1,470.6 m Y = -45,629.8 m